

て厳しい状況が続くと予想されますが、米国の消費は大幅には落ち込んでおらず、またアフガン問題も終息に向かっていることより、輸出は今年も減速するが大幅なマイナスは回避できると予想します。しかし、輸入については、国内企業の海外への製造工場移転がさらに加速し、中国を中心として衣料品、電化製品、半導体、農産物などあらゆる業種の製品流入が進み、今年も輸入浸透度が高まり、貿易収支はさらに悪化することが予想される。

為替相場

国内の景気悪化により昨年暮より1ドル130円台の円安となり、政府・日銀首脳とも容認と受け止められる発言があり注目される相場展開であるが、欧米各国も景気が十分に回復していないこの時期一段の円安は考えにくい。今後は、米国経済の緩やかな回復感により、日本国内の景気は輸出産業に支えられ後半より回復基調が見込まれるため、今年は、引き続き1ドル125円から130円台前半を予想する。ただ、さらに円売りが進む事態となった場合、一段と円安が加速し国債の格下げによる長期金利が上昇し、景気悪化が増幅する懸念も考えられ円の動向にはとくに注目したい。

戦後、高度成長時代には世界の超経済大国に台頭し、また近年はバブル崩壊後未曾有の景気後退期に見舞われたわが国ではあるが、他国に類しない文化と人間性を有しており、この二つの隆盛と衰退を世の常と考え、逆境の時こそ前向きな姿勢で強い経営のリーダーシップを発揮することが必要ではないでしょうか。企業には、「人」「物」「金」とよく言われますがとくに今大事なものは「人」であり、厳しい経営環境を理解せず危機感の薄い社員を多く抱えていては、この逆境に耐えることができないため、今こそ人材の育成を最重要課題とすべきであると思います。是非、変化の著しい今日、スピード経営と社員のモチベーションの高揚に対し積極的に取り組み、強い組織で厳しい景気環境を乗り越えてほしいものです。

日本経済全体を見れば今年1年も厳しいものが予想されますが、他に依存することなく独創的で機動力もつ中小企業の活性化こそ景気立て直しに不可欠であり、地元金融機関として積極的な経営にチャレンジする皆様方のお手伝いにお役に立てれば幸いと思っています。

年頭にあたり皆様方のご繁栄とご健勝をお祈りいたしますとともに、今後ともご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

事務局だより  
INFORMATION

11月

- 8日 新入社員フォローアップ研修(2回目)
- 17日 経営者研修会  
「初めて取組むISO」

12月

- 4日 理事会
  - 1.総務委員会より
    - (1) 集団健康診断の実施予定
    - (2) 尚和印刷株跡地の件
    - (3) 新年互礼会の件
    - (4) 運転資金転貸について
  - 2.厚生委員会より
    - (1) 中堅幹部研修会と、スキーツアーの予定
  - 3.事業戦略委員会より
    - (1) 情報化セミナー開催について……ブロードバンド通信とはどんなものか
- 17日 情報化セミナー  
「ブロードバンド通信とはどんなものか」  
32社 50名 出席

1月

- 4日 新年互礼会



編集後記

2002年初めての広報誌です。今年は大変厳しい年になりそうな気がします。経済成長もマイナス予想であり、倒産件数もたくさんでるだろうと言われてます。なんとなく暗い一年になりそうな感じがしますが、こういう時こそいつも以上に明るく、元気にいきたいものです。市場が厳しいれば厳しい程、そこに大きなビジネスチャンスが訪れてくる。この大きなチャンスをつかむのも、見放してしまうのも自分自身です。常に大きな目と心をもって情報収集してこの厳しい年を乗り切っていきたいものです。今年度イベント公園もでき、情報化のデータベース事業もソフトが完成し、新たな情報基地としての「キマッシ カナザワ」が発信できる年でもあり、大いに期待をもった一年にしたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。

(A)

KIMASSI

Vol.82  
February

KANAZAWA

FEBRUARY 2002 KANAZAWA TOIYA CENTER QUARTERLY NEWS 金沢問屋センターニュース  
URL <http://www.kimassi.or.jp/>

座談会  
イベント公園完成間近。さあ、どう使う？  
年男、大いに語る。  
平成14年の経済見通し。

# イベント公園完成間近。 さあ、どう使う？

## 出席者

北陸通信工業 株式会社 社長 辰川 伸一  
 ナカダ 株式会社 専務 中田 文夫  
 株式会社 丸昌 社長 来馬 達也  
 三和通商 株式会社 社長 北村 理治  
 株式会社 コシハラ 取締役 越原 寿朗  
 協同組合金沢問屋センター 部長 柳瀬 彰一

## 司会

協同組合金沢問屋センター 理事  
 事業戦略委員会委員長 小川 榮一

**司会** 皆様で承知の通り、数年前に問屋センター変革実行委員会が発足し、その一環としてイベントのできる公園を建設中です。本日は、この公園の活用、利用方法などについて様々な思いをお聞きしたく、委員以外の方でお若い方を中心にお集まりいただきました。忌憚のないご意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。では、ここに至るまでの経緯を柳瀬さんからご説明願ひます。



**柳瀬** 問屋センター完成30周年を機に変革実行委員会ができ、その成果として問屋センターの愛称を「キマッシ カナザワ」と決め、「賑わいのある街」をコンセプトに「といやまち 創って魅せる 目きき街」のスローガンも完成しました。その流れで開発プロジェクトができ、金沢市に街の再整備をお願いし、快く引き受けていただきました。中身は二つの公園整備と道路・歩道の整備で、第一弾がイベント公園の建設です。フリーマーケットやファッションショーで人を呼び、賑わいを想定して進めているわけですが、一方で、この厳しい状況の中で賑わいを優先する必要があるのか、という声もあります。公園に賑わいを創設することが今後の卸売業への取り組みにとって果たしてよいことなのか、答えはなかなか見つかりません。しかし何もしないよりは行動を起こし、ユーザーが何を求めているのかを探る1つのステップとしてイベント公園を立ち上げます。せっかく造る公園です、どんな方法で運営していけばよいか、利用していくのか、議論していただければと思います。

**辰川** 普段は気に止めなかったものが、ある時会社の屋根に登って見下ろしたとき、なんと美しい公園だろうと知りました。一番いい思いをしたのは私

どもの会社ではないかと思いますが、今後の公園の利用には何か制約があるのですか。

**司会** 土地は金沢市のもので、問屋センターが市と共同で運営していくこととなります。

**柳瀬** 利用の申し込みはどちらにでもでき、両方で確認して許可を出す形で考えています。整備は市の方で年に何回か業者に委託するようですが、それだけではとても足りないの、組合でも水撒きや芝刈りをしなければならないと思います。



北陸通信工業 株式会社 社長 辰川 伸一

**辰川** 周辺の住民を巻き込んでの「祭り」も大切ですが、問屋センター内の従業員の方が気楽に集まれるイベントがあっても良いのでは。すべての祭りやイベントを問屋センターが企画運営するのは難しいので、会員企業や外部の方にうまく利用してもらおう事も必要

です。そのため、マスコミを上手に利用して公園を使ってもらうなどして知名度を上げる手もある。あの週のあの日に公園に行けば何かやっている、それで人が集まる、そういう仕掛けも必要だと思います。

**来馬** 浮浪者の溜まり場になっては困りますね。公園ができたからイベントが棚ボタ式に入ってくることは絶対ないですし、辰川さんの言うように、まず広く市民に示すことが大切でしょう。夜は暗い、昼も人があまりいない所にこんな場所があって誰でも使える。広く門戸を開いて誰でもできますよということ、そして発信の第一弾となるもの、例えば「目きき博」のようなものをフリーマーケット形式でやっていくとか市民に知らせることですね。それには、上面だけでいくら話していてもダメ。柳瀬さんが頭を悩ませるようないろんな意見があるわけですから、多角的方向性をどこかに見出すしかない。どこの社員だからではなく、この町に暮らした基盤をもつ人間がこの公園から何かを発信していくことを考えるチャンスだと思います。こういうイベントは1回限りの尻切れトンボになることが多い。というのは上面だけで可能性を求めているからです。下から湧いてきた意見を吸収していれば次はどうすると皆一生懸命考える。その中で地域の中から何か使わせてもらえないかという声も出てくると思う。社員の針の穴のような意見にとっても生き生きしたものがありますから、それを抽出し、素晴らしい意見には賞をあげるくらいの意気込みで、問屋センターに暮らす人たちの声を集めて一過性のものでなく、継続性のあるものでやっていかなければならないと思います。



三和通商 株式会社 社長 北村 理治

**北村** 私は、公園ですから賑わったほうがよいと思うし、公園ができるできないにかかわらず町は賑わいがあるほうがいいと思います。我が社の場合は小売をする商品が少ないので、商売そのものよりも一般の方々と接する機会を持つことと、この場所に会社を構えているものとしてまちおこし的な側面を考えますね。

どんな町にしてもシンボリックなものがある。各社いろんな方が集まっていますが、公園が同じ町に住む人の共通な心の支えとなるシンボルになればよいと思っています。人が集まって商売につなげたいというのが根本ですが、それが前面に出ると、やる気のある人が集まる年は盛り上がるがそうでない年は廃れていくことにもなりかねないので、商売から離れて人が集まるイベントを継続的に実施し、その周りで店を開くなどすれば継続しやすいかなと思います。具体的には毎月1回公園でちびっ子のど自慢をやるとか、グランドチャンピオンになった子は問屋町からCDデビューさせるとか、定期的にその登竜門となるイベントを実施している公園だと認知させる。それが年々定着する場所になればと思います。



株式会社 コシハラ 取締役 越原 寿朗

**越原** 芝生の管理が大変だと思います。夏場はほとんど毎日水遣り、最低週1回は芝刈りをしないと雑草の野になってしまう。管理は今まで以上手がかかってくるでしょう。会館と同様に貸し出しなどには何らかの形で費用を取っていかないと、1年経たないうちに草茫茫の野っ原になってしまうので、造ったからには管理するための費用の捻出を考えないと長続きしないと思いますし、そのためにあまり手のかからない継続的イベントを考えていく。主催はこちらでやるようなイベントで、ある程度の収入を得る形をとらないと、公園として機能しなくなるのではという気がします。

**柳瀬** 参考のために申し上げますが、そこで儲けるのはダメだそう。管理費用のためというのももっともなのですが、貸し出す際に使用料を取ってはいけません。例えばフリーマーケットでテントを張る場合には、テント費用を負担してもらっては構わないのですが。



**越原** 管理費用はどうなるのですか。  
**柳瀬** 市は年4回ほど業者を頼んで管理してくれますが、夏場は組合サイドで相当管理しないといけなくなるでしょう。



ナカダ 株式会社 専務 中田 文夫

**中田** 一番心配なのは維持の大変さですね。草茫茫の空き地になってはマイナスイメージです。従来の和風庭園式公園では目立たなかったところが見えてきて、事務局だけでは維持が難しくなってくる。そうすると問屋センターの看板施設として一斉清掃も考えないと、共有地という意識をもってもらえない。イベント広場と考えると、毎回違うことをやっているのは利用者になかなか浸透しないので、ある程度定期的にある程度共通の目的を持ったイベントとしてやっていくことでしょ。初めから欲張ったことをせず、小さくてもいい、他にないものを知恵を絞って始めないと。問屋センターの広場から発信するイベントを定着させるのが一番いいと思う。物を売ることと運動するだけでは、今の消費者は難しい。安いから買物するわけではなく、そこに感動やショッピングの楽しみがあるから買うのであって、在庫一斉処分的な考えでイベントを合体させても今の時代には合わないと思います。他ではやっていないことを市民にPRするイベントと方法を考えないと、最終的には公園でなくてもいいということになる。問屋センターをPRするための公園と考えないと…。公園の認知度よりも問屋センターがきれいである有名になり、明るくなればいい。そのための階段を1段上ったばかりですから、なるべく多くの方に意見を聞く場を設けられればと思います。

**司会** 問屋センターで働く社員の意見を取り上げ、社員が参画できるものを実施する一方で、地域住民の皆さんも参加できるような中と外のバランスをうまくとりながら面白いものをということですね。現時点で公園のネーミングに約200通の応募がありますが、委員会だけでなく各企業の社員さんにも目を通していただき、ご意見を聞いて進めることも大事だということですね。

**来馬** 私の考える具体的な、夢のような提案をお話しすると、小学校、中学校の各育友会が大変な熱をもって活動しており、その集合体がこの公園で何かできれば素敵ですね。例えば、冬のフードピアに対して「夏の食祭」「金沢の鉄人達の集い」など、あ

えて夏に行い社員の方たちにも楽しんでもらう。他に、優良従業員の表彰を公園でやっていく。また「ミス問屋センター、ミスター問屋センター」、具体的には「オーケストラアンサンブル金沢、夏の演奏会」または弦楽四重奏だけでもいい。屋根ができますから、雨の日でも身近に演奏を聞く機会を提供する。終業時間後に始める好きな方は聞きこられる。それを従業員が企画していたということであればもっと素敵なことだと思います。

**司会** 音楽の話が出ましたが、それを社員間で進めるというのは従来にはない話で面白いですね。  
**越原** 近代化研究会でも出ていますが、ビアガーデンを開いてはどうでしょうか。ビール券を作り各社で販売し、それぞれが惣菜を持ち寄り夏場にやる。問屋センターの中でお酒も食べ物も揃うのですから、そういう集まりをやってもよいのではないのでしょうか。  
**辰川** 私のところは公園の隣なので話し声がよく聞こえるんです。

**来馬** 音を出すのは日曜日など限られた日だけでしょ。  
**中田** 実際、公園でのイベントといわれると種類は少ないですね。昔は盆踊り、最近だとフリーマーケット。公園という地域の方が利用する町内会のイメージが強いですね。金沢市でいうと中央公園、そこなら夏祭り。中央公園でのイベントをこちらなりに消化したものをやってはどうかと思います。

**司会** 今、中田さんが言われたように中央公園を小型化した公園ですね。

**来馬** こちらはステージもありますし。  
**中田** イベントの公園を目指しながら、では使っていないときに人が集まってほしい公園なのか、がらんとしていた方がいいのか。  
**辰川** 日曜日にイベントがあって人が集まっても、周辺にはそれ以外何もありません。駐車スペースやお茶を飲むところも。

**司会** テラスのあるコーヒーショップなどですね。  
**辰川** センターが開いていてオープンに使えるからイベントをやっても人は集まるけれど、あいてない場合はどうなるのか。それとセンター外の施設が整っていない。

**来馬** トイレもないですね。  
**柳瀬** 土日はほとんど会館で何かイベントをやっていますから大丈夫だと思います。  
**辰川** 用水横の道がある意味では準メイン的な役割を果たすのではないのでしょうか。人の流れを左右すると思います。  
**柳瀬** 金沢市からの要望は、せっかく造るのだから問屋町の経済につながる方向のものも考えてほしいということですね。



株式会社 丸昌 社長 来馬 達也

**来馬** 大きなイベントを打ち上げるにしても、決まった日の決まった時間に何か継続されることが大事ですね。問屋センターの名前が出てこなくても、あの公園のあのイベント、と人の意識に決まった名称が記憶として残ったり、おしいちゃん、おばあちゃんにもずっと入ってくる

ようなもの。何度も言いますが、一般的な意見を拾い上げて何かをやっていくのが一番大切なのではないかだと思います。周りで仕事をしているけれど、幼稚園児が敷物を敷いてお弁当食べていてもいいと思います。

**中田** 橋ができるのはいつですか。  
**柳瀬** 平成16年の4月ごろの予定です。  
**中田** そうすると、一般車が通る道に変わりますね。  
**柳瀬** 外環状線ができるのだらぶ違ってくるでしょう。

**司会** 交通量が増えると逆効果ですね。  
**越原** 公園完成のPRIは市のほうでやってもらうのですか。  
**柳瀬** 広報で記者発表してもらいます。オープニングにはよさこいソーランの方たちにも来ていただきますが、従業員の方にもぜひ見ていただいて、我々もやりたいと問屋町チームができれば最高ですね。その従業員の方をどう盛り上げていくかを考えていかないといいけない。

**来馬** 問屋センターのスキー大会は行かないけれどボードなら行くという。このちょっとしたズレを見つけ出せばいいんです。  
**司会** 従業員の若い人たちにも参加してもらえらる場を設け、意見を聞くというのも一つの方法ですね。  
**来馬** 従来のやり方がすべて悪いということではなく、この間の「かもん☆といやまつり」でも会社は準備をするからあとは自由に参加してというと、結構参加してくれたりしましたから。

**越原** 1つのイベントにすべての年代の社員を集めようとせず、各年代ごとをターゲットにしたイベントと割り切ってもいいと思います。

**司会** イベント公園についてまだまだ浸透していないことも多く、今日は皆様からいろいろな意見を頂戴し、プロジェクトのメンバーももっと勉強しないとダメだし、まだまだ多くの方々からご意見を頂き、イベント公園の効果的な使い方と「キマッシ カナザワ」の活性化を目指していきたいと思っています。今日はお忙しいところをありがとうございました。

**司会** 協同組合金沢問屋センター 理事 事業戦略委員会委員長 小川 榮一

# 年男、大いに語る。



**変えなダッチヤカン**  
株式会社マツモト 会長  
松本 晴吉

明けまして新年おめでとうございます。  
各位には、この厳しい時代お健やかに新春をお迎えになられましたこと心よりお慶び申し上げます。  
さて、21世紀の幕開けの昨年は、多事多難、凄惨な出来事も多々ありましたが、師走にはご皇孫のご生誕もあり、国民挙げての慶祝の年でもありましたようでございます。  
私は昭和5年の午年生まれ「年男」ということで投稿を頼まれた訳ですが、調べてみますと、これまでの年男の辯は、せいぜい還暦の60歳の方が最も年

重さであり、70歳を過ぎた身で何を今更抱負を語る柄ではありませんが、人生いろいろ、年寄りの念仏としてお聞き流し願いたいと存じます。  
弊社は創業117年を今年迎える訳で、所謂、老舗の部類に入るかと思いますが、ここまで長続きさせて頂いた原因の一つは、創業時の紙屋という商売が手間の掛かる利の薄い商売でしたので、商品一枚一枚に愛情を込めて息をふきかけ、一年一年無難に年越しできるよう、経費の節約と、地味な振舞いをしてきたからだと代々教わっております。また、商売の根本である誠実さをモットーに、人の和を大切にしてきたからだと思えます。  
一昨年、99歳で亡くなった私の叔父は、口癖のように「変えなダッチヤカン」「変わらなダッチヤカン」といつも言っていました。最近の時代の変化は著しいものがあり、その変化に対応した施策を講じることも経営のコツの一つで、社員一丸となってこの



**自分らしく**  
ナカダ株式会社 専務  
中田 文夫

新年あけましておめでとうございます。  
私の生まれは映画「ゴジラ」と同じ昭和29年。気がつけば、干支を4周走完。多くの方々にお助けられ、支えられ今日までこれました。しかし私の人生は、まだまだこれからです。私のモットーは、日々「若やく」こと。私の考える若やくとは、第一条件としてあらゆる事柄に吸収力があり、感性豊かなことだと思っております。思考力は基より心の感性も大切です。流行語となった「感動した」は、心では思っ

もなかなか言葉には出せないものです。十代の頃は毎日が新しく驚きの連続でした。二十代になっても先輩や同僚との出会い、そして様々な環境の変化が新鮮で、成長し新しくなっていく自分自身を感じることができました。近頃、自分に感動が少ないのは、今までの経験で知識を得たかのように、自分が誤解しているからだと思っております。物事にいろいろな角度から感じ、興味を持っていたつもりでも、感性の鈍化が進行してしまっていたようです。事業も趣味も全てが私の人生なので、今まで以上に貧欲に興味を持ち、一日一日を大切にしたいと考えています。今一度角度を変えて考える、思考力を持ちたいと思います。  
第二の条件は精神面での時間管理だと考えております。体力的にはピークを過ぎておりますが、与えられた一日の時間は、皆、平等です。時間をいかに



**21世紀に吼える**  
株式会社井口商店 社長  
井口 伸一郎

新年、明けましておめでとうございます。  
期待と不安をもって迎えた21世紀ですが、子供の頃想像していた21世紀と比較してみても現在の方が「良い」と思うことは、日本がサッカーのワールドカップに出場できたこと、さらに地元開催が実現したことが挙げられます。  
私(昭和29年生まれ)がサッカーを始めたのは中学1年の時です。翌年1968年には日本サッカーがメキシコオリンピックで銅メダルを獲得していますが、真の世界一を競うワールドカップに日本が出場することは夢のまた夢、私が生きているうちは絶対に不可能だと、諦めきっていました。

ところが、Jリーグ発足後飛躍的に実力アップし、メキシコから30年後、アジア予選を勝ち抜いて悲願の本大会出場を果たしました。しかしながら、世界の壁は厚く本大会では3戦全敗で予選敗退しました。あれから4年、日本は国際経験を積みたくましさを増した選手達が、トルシエ監督の下に一丸となりつつあります。先ずは一勝、そして予選を突破できれば、開催国の利を十二分に活かして一気に波に乗り「優勝」も夢ではありません。がんばれば日本！  
一方、逆に現在のほうが「悪い」と思うことは政治経済面です。  
まず、記憶に新しい、昨年の世界貿易センタービルに飛行機がぶつかるというショッキングな事件を引き金にまた戦争です。21世紀になっても「戦争」というものが存在すること自体幻滅です。がっかりし過ぎて話す言葉もありません。ワールドカップを直前に控えているというのに、いいかげんにしろ！

変化に立ち向かう姿勢も大切だと思います。  
弊社は昭和60年、百周年を機に家業から企業への脱皮を宣言し、この16年間で、私の後に2人の社長を誕生させ、来年は現社長も定年を迎えますのでまたまた交替の時期に入ります。社員の中から優秀な経営者を生み出すという一風変わった会社です。  
皆様方には、今後とも弊社の生き方を厳しく、暖かく見守っていただきたくお願いいたします。  
最後になりましたが、昭和45年にこの問屋センターの一員に加えさせて頂きまして以来、皆様方に本当に良くして頂き、とくに色々な経営の指針を教えて頂いたり社員教育面で色々勉強させて頂く事多く、問屋センターに来て良かったとつくづく思い知らされて居り、感謝申し上げますと共に、今後共、よろしくご指導ご愛顧の程お願い申し上げます。

有効に使い、有意義に過ごせるかが問題です。それには自らの管理と集中力だと思います。どれだけ内容の密な時間を多く作れるのか。それによって生れる疎の時間に精神面でのゆとりを持って、第一条件の感動する時を過ごし、自分自身の新たな変化を醸成できるのか。自分自身にはどうしても甘えが出るもので、気を引き締めねばと自問自答の繰り返しです。  
人生はマラソンに譬えられます。私はゴールの無いマラソンだと思っております。いかに速く走るかではなく、いかに「らしく」走るかです。景色を見ながら、風を感じて。登りもあれば下り坂もあります。道に迷ったり立ち止まったりせず。より遠くへ、より長く走って行きたい。時にはゆっくりと、時には全速力で。

それともう一つは「不況」および「腐敗政治」です。21世紀になっても相変わらず不況が云々されておりますが、いい加減聞き飽きた感も有ります。自然現象のように景気にも良い時と悪い時があるのですから、良い時に蓄えを作り悪い時に備えるような柔軟なシステムを作らなければ、年がら年中苦しみの連続です。同じことを何回も繰り返しているようでは能が無さ過ぎます。頭が硬い！  
また、国家財政は巨額の赤字を抱え、公的資金を湯水のごとく浪費し、新聞紙上にも「日本債務不履行の可能性」との記事も載りました。国民から血税を搾り取っておきながら、国家財政の実態は余りにも不透明かつ無責任であると言う他ありません。これに加え官僚の公費横領など、政治の腐敗。これでは国民は公僕に隷属です。国民をバカにするな！  
正月早々、お耳障りかとは思いますが、あえて吼えてみました。



**コミュニケーション**  
北陸通信工業株式会社 課長  
中川 正人

新年あけましておめでとうございます。  
昨年、縁ありまして協同組合金沢問屋センターの近代化研究会の一員となりました。次代を担う若い経営者に混ざっての委員会の活動、自分にとって実に良い体験をさせて頂いております。  
入会早々、問屋センター初めての挑戦でイベントの企画でした。それぞれの委員会でそれぞれの役割の検討をくり返し半年間煮詰めての本番「第1回かもんといやまつり」でした。予想以上の集客と高評判で大成功裡に終わり、沢山の方々に喜んで頂きました。入会早々、右も左も分からないまま皆さんのお陰で一員として全うする事ができました事、大変嬉しく思っております。この会は年齢制限もあり残りわずかですが、できる限り最後までお役に立ちたいと思っております。

さて、私が生まれた昭和29年の経済概況は、国内経済は国際収支の不均衡を是正するためデフレ政策によって、インフレ環境から大きく転換したそうです。デフレ政策によって国内需要が減少し物価が低落、輸出も好調に転じ国際収支は黒字になり、年後半から内外景気が好転したそうです。今日の景気低迷もまだまだ先は不透明であります。今年をきっかりに回復を祈るものであります。

今期、我が社の運動テーマとして「コミュニケーション」を挙げております。さまざまなトラブルをコミュニケーションによって防止する事が目的です。お互いに話をし最後に確認をする事、またコミュニケーションによって横の連携、情報の共有化・効率化等をはかるため、社内の人間ネットワークを重点としています。間違いを無くするための確認が顧客満足度を高め、現在求められている、スピード・確実を実現するためあえて「コミュニケーション」をテーマとしています。コミュニケーションは先ず挨拶から、人との会話は家族、友人、職場、お客様、どんな場であっても常に相手の立場を考えた話し方がポイントとなるのではないのでしょうか。後から自分のはいた言葉を反省する事がよくあります。人間それぞれ感情があります。相手の出方で自分の意思に反した態度、言動が出てしまうものです。上にたつ者聞き上手になる事、すなわち相手がよく見えて、自分を見直すことができるし素直に聞き入れることができます。

青少年の犯罪も、恋愛も、仕事も、この辺に要因があるのではないのでしょうか。「人の振り見て我が振り直せ」まだまだ自分を知らない人が沢山いるのではないのでしょうか、生涯常に自分の弱点を直す事を忘れずに頑張って生きたいと、この年男の節目に再認識するものであります。

## 平成14年の経済見通し

# 逆境こそ強いリーダーシップと人材の育成を



株式会社北國銀行問屋町支店長 広崎 邦夫

新年明けましておめでとうございます。  
平成3年以降のバブル崩壊後日本経済は急速に景気が下降し、国民こそって新世紀を待望した昨年でありました。しかし、その平成13年の国内経済は、個人消費の伸び悩み、公共投資の抑制、民間需要の低迷、企業倒産の増大、不良債権処理問題、デフレ、雇用不安など悪材料が多く、実質経済成長率がマイナス成長率となる厳しい結果でありました。また、小泉新政権発足に景気回復を多くの国民が期待したに拘わらず、株価の一万円割れ、完全失業率5%超になるなど、構造改革による景気回復までに至っていない1年でもありました。一方、国際経済では、これまで世界経済を牽引してきた米国で発生した9月の同時多発テロ事件は世界経済の落ち込みにいっそうの拍車をかけることとなり「世界同時不況」とすら言われる状況に陥り、世界の政治経済に暗雲をもたらしました。そのなか、唯一国内での明るいニュースとしては、12月皇太子ご夫妻に長女敬宮愛子さまのご誕生されたことで、多くの国民が新しい年、平成14年に期待を繋いだことと思えます。

さて、厳しい景気の冷え込みでスタートした平成14年の国内経済見通しを考えるについては、昨年春より景気後退期に入った米国経済の回復時期如何に大きく影響されると予想されます。その米国では、同時多発テロ後連邦政府が減税など相次ぐ大型経済刺激策を準備し景気の下支えを試みています。しかし、2001年には昨年比3.5%以上落ち込んだと言われる設備投資や、GDP(国内総生産)の約7割を占める個人消費も完全失業率6%目前で力強い回復が期待しにくく、米国景気底入れにはさらに今後約半年以上はかかるものと思われれます。また、2000年急成長した欧州経済についても、米国の景気後退やIT(情報技術)バブル崩壊により昨年来景気に急ブレーキがかかり、欧州中央銀行では利下げを実施し金融緩和策による景気刺激策をとっている状況にあり米国同様景気回復にはまだ時間がかかることが予想されます。この欧米諸国の状況下わが国経済は、設備投資の減退、個人消費の低迷、雇用不安など景気悪化からデフレスパイラル懸念により今年も引き続き厳しい景気状況が予想され、実質経済成長率は昨年同様マイナス成長率の1%前後が見込まれます。元来、日本経済は強い輸出型製造業がそれ以外の産業を支えてきた構造にあったが、近年労働コスト

が大幅に安い中国に製造部門を奪われ厳しい環境に変化していますが、国内企業の合理化が進み国際競争力が増してきたこと、日本の得意部門である産業技術である、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーなど新分野の優位性に弾みがついてきたことにより、新しい産業を中心として年度末より景気回復が期待されます。  
需要項目別に見てみますと、

設備投資  
期待されたIT関連投資に一服感があること、各輸出産業における設備投資も在庫調整期間より投資の伸びは期待しにくく、また国内主要電気機械産業においても引き続き合理化のため、今期の設備投資を抑制気味である。唯一安定していた自動車産業においても、昨年後半より国内販売に陰りが見え始めており懸念材料が多い。全般的に企業収益の伸び悩みより投資額は昨年に引き続き鈍化する。

公共投資  
「改革なくして成長なし」を掲げた小泉政権の平成14年度予算は前年以上の緊縮予算であり地方自治体を含め厳しい緊縮財政より大幅な投資額減少となる。

個人消費  
失業率増加、雇用不安など悪材料の中にあるが、自動車、IT関連商品、高齢者関連商品などを中心に個人消費が後半上向くものと予想される。とくに今年の個人消費での大きな関心事は、税制改革と、4月予定されているペイオフ解禁を控えた個人資産1400兆円の動向が今後とくに注目される。

民間住宅投資  
住宅用地の値下がり、住宅減税や低金利状況など投資に適した環境にあるものの、依然として景気の先行き不透明感から住宅着工の増加は今年も期待しにくい。

外需  
輸出については、米国経済の減速と同時多発テロ事件によって平成14年は国内輸出産業にとつ